

1. 大学生の勉強方法

- ・ 高校生までの勉強方法との違い

「生徒」…インプット（言われたことをこなして身に付ける）

「学生」…インプット+アウトプット（主体的に問題を発見し、自分の頭で考える）

- ・ アウトプットの重要性

事例：X は、PC ショップ Y においてノートパソコン甲を購入した。甲の到着後、電源を入れて操作を試みたが、電源が落ちたり再起動を繰り返すなどうまく動作しないことが分かった。不良品をつかまされたと憤った X は甲を Y に返品し、購入代金を返してもらいたいと考えている。X は甲を返品して代金を返してもらえるだろうか。

①問題となっているテーマは何か？

→契約の解除（民法541条）

※解除…契約をなかったことにして代金を返還してもらうことができる制度

②その解決方法を理解しているか？ —インプット

→解除権がXに認められるための条件（要件）

- （1）当事者（X・Y）間に契約関係が存在する
- （2）債務者（Y）に債務不履行がある
- （3）債権者（X）が債務者に相当の期間を定めて履行の催告をした
- （4）催告期間内に債務者による履行がない
- （5）催告期間経過時の不履行が軽微ではない

※（2）～（4）は541条本文、（5）は同ただし書

③あてはめ—アウトプット

- （1）XとYの間には甲の売買契約がある
- （2）甲がうまく動作しない（電源が落ちる・再起動を繰り返す）
- （3）Xはまだ催告していない

＝以上から、本件においてXがYとの契約を解除するためには相当の期間を定めてYに催告をし、それでもYから履行がなければXは契約を解除できる。

※あてはめの前に「解釈」が必要になることもあるので注意しよう

e x. 契約はどのような場合に成立するか？債務不履行とは何か？など

- ・アウトプットの練習方法
資格試験にチャレンジしよう！

2. 資格をとるための準備

- ・法学検定
ベーシックコース…法学の初学者が知っておくべき基礎的なレベル
スタンダードコース…法学を専門的に学習する者が修得すべきレベル
アドバンストコース…法学を学ぶ者が目指すべき上級レベル
→法曹を目指せるレベル・企業や官公署等で法律実務を担当できるレベル
- ・公務員採用試験（県庁や市役所など）
- ・警察官採用試験
- ・裁判所職員採用試験
- ・司法試験

3. 法学研究所研修講座の使い方

- ・授業の予習や復習として
繰り返し学ぶことで、基礎的な知識がしっかり身に付く！
- ・定期試験対策として
普段の授業にプラスして授業を受けることができるので、試験対策にもなる！
- ・ダブルスクールとして
公務員試験・各種資格試験・ロースクール進学対策になる！
- ・演習の場として
板橋の研修講座では、講師の先生方と議論しながら学べる！
- ・自習室の利用として
研修講座を受けている学生のみ、自習室（受講生専用の机やロッカー）が使える！

5. 法学研究所の講座

- ・東松山研修室の講座は基本的に月曜～金曜の5限（16：45～18：15）で実施

※2025年度東松山研修室講座の開講曜日

月…憲法、行政法 水…刑法 金…民法Ⅰ、民法Ⅱ、法学検定対策

☆民法Ⅱと法学検定試験対策講座はオンデマンド講座です！

→民法Ⅱと法学検定試験対策講座はオンデマンド講座のためいつでもどこでも受講可能です。オンデマンドのみの受講も可能なので、特に昨年一通り1年生向け講座を受講した2年生におススメです！

6. 研修講座と学部の講義が重なってしまっている場合は？

→研修講座は5.で紹介したように特定の曜日の5限に実施されます。しかしクラスと曜日によっては5限に学部の講義が入ってしまっていて履修できないという事態もあります。そのような場合、クラス変更手続きをすることで履修する講義を変更し、空いた時間で研修講座を受講することもできます！

※ただし、勝手な履修変更はできません。必ず履修相談で必要な手続きをしてください！

以上です